

第一表

重要物資の国際比価 (31年2月末現在)

(注) 括弧内は前月比騰落

品目	単位	区分	日本		米	英国	その他		
			邦貨建	外貨建					
織維	綿糸(20番手)	封度	M	¥ 193.1	¢ 53.6(+1.7)	¢ 69.0(0)	¢ 64.65(+0.51)	¢ 香港46.0(-0.2)	伊57.7(0)
			E	192.6	53.5(0)				
	綿織物(2003)	碼	M	56.5	15.7(-0.6)	17.25(0)		香港15.2(-0.5)	
			E	56.5	15.7(+0.2)				
	人絹糸(ビス120D)	封度	M	208.5	57.9(-5.4)	83.0(0)	62.9(0)	伊 82.4(0)	
スフ糸(30番手)	"	M	163.8	45.5(0)					
		E	139.0	38.6(-4.2)	76.2(-0.6)	63.0(0)			
鉄鋼	鉄鉄(鋳物用2号)	屯	Q	25,000	\$ 69.4(0)	\$ 58.2(0)	\$ 45.2(0)	\$ ベルギー63.0(0)	フランス55.2(0)
	棒鋼(19ミリ)	屯	Q	41,700	115.8(0)	102.5(0)	90.5(0)	ベルギー105.0(0)	西独89.7(0)
			M	44,500	123.6(-4.1)				
	厚板(12ミリ)	"	Q	M	45,000	125.0(-2.0)	120.1(0)	113.7(0)	ブラジル108.0(0)
E									
薄板(1.6ミリ)	"	Q	46,700	129.7(0)	99.6(0)	87.5(0)	西独 109.5(0)	フランス116.0(0)	
非鉄金属	電気銅	封度	Q	170~181	¢47.1(+3.2)	¢ 46.0(+3.0)	¢ /	¢ ベルギー 45.8(+0.4)	
	電気鉛	"	M	231	~50.4(+4.5)	51.5(+3.1)	52.4(+2.5)		
			Q	64	64.3(+3.8)	15.8(0)	15.6(+0.8)	メキシコ 14.8(0)	
	亜鉛	"	Q	50~63	14.0(0)~17.4(0)	13.5(0)	12.8(+0.2)	メキシコ 12.8(0)	
			Q	82~107	22.7(0)~29.6(0)	24.4(0)	22.4(+1.0)	カナダ 22.3(0)	
	アルミ	"	Q	390	108.4(-2.5)	102.0(-0.5)	104.4(+7.0)	シンガポール 94.4(+0.6)	
錫	"	Q							
窯業	セメント	屯	M	7,450	\$ 20.7(-0.2)	\$21.0(0)~23.5(0)	\$ /	\$ 西独18.3(0)	フランス15.8(0)
			E	6,840	19.0(0)			14.0(0)	西独13.5(0)~14.5(0)
化学製品	硫酸(安)	屯	E	21,762	60.45(0)	51.0(0)	50.0(0)	西独51.0(0)	イタリヤ52.0(0)
	苛性ソーダ(固型)	"	M	42,000	116.7(+4.2)	85.0(0)	76.0(0)	カナダ54.4(0)	
	レーヨンパルプ	"	Q	78,814	218.9~222.0(0)	CIF 209.0(0)		カナダ CIF 200.0(0)	
動植物製品	大豆	ドラム	M	29,000	80.6(+1.4)	59.7(+7.0)			
	生ゴム(RSS3号)	封度	M	117	¢ 32.5(-3.3)	¢ 32.8(-5.0)	¢33.1(-4.2)	¢ シンガポール 30.6(-3.4)	
	原皮(牛)	"	M	80	22.2(0)	16.5(+2.5)			
燃料	石炭(粘結炭)	屯	M	6,750	\$ 18.8(0)	\$ FOB 12.3~12.5(+0.5)			
						C&F 27.5(+0.5)			

備考

- 区分欄、Qは建値、Mは市中価格、Eは輸出価格。
- 織維
  - 海外価格はロイター電等による。
  - 香港綿布は2003番相当のもの。
  - 人絹糸海外価格は150D価格を採用(我国での150Dの生産取引は僅少)
  - 英国スフ糸は36番手単糸紡織式によるもの。
- 鉄鋼
  - 日本のQ(生産者価格)は鉄鉄では富士製鉄3月積建値、鋼材では八幡製鉄4.5月積建値より全国平均運賃鉄鉄1,000円、鋼材1,300円を夫々差引いて算出。
  - 海外は鉄鉄
    - ベルギー 鋳物用高純鉄 ミュッソン(基準地) 渡し
    - フランス " ロングイ(") 渡し
    - 英国 ベーシック鉄
  - 英国は公示価格よりわが国同機運賃を差引いて算出。
  - 米国は U.S スチール社発表値。
  - 西独は公示価格から取引税4%を差引いた。
  - 厚板は米国、英国9~38ミリ、ブラジル加盟国9.5~25ミリ。ベルギーはトーマス鋼。

- 薄板は米国1.7ミリ、英国3ミリ以下、西独、フランスには寸法エクストラ夫々7.93、7.31ドルを加算。
- 非鉄金属
  - 非鉄の英国価格はアルミを除きロンドン取引所現物相場。
  - 電気銅国内建値の高値及びアルミの国内建値は精錬業者販売価格。
  - 亜鉛、アルミ国内建値の安値は輸出原材料向特価。
  - 電気鉛、亜鉛のメキシコ価格、錫のシンガポール価格はいずれも市中相場。
- セメント
  - フランスは包装代を含まない。
- 化学製品
  - 苛性ソーダはアンモニア法製品価格。
  - レーヨンパルプ国内価格は1~6月期建値。海外価格は1~3月期CIF日本価格。
- 動植物製品
  - 生ゴムの英相場はRSS1号。
  - 米国原皮銘柄バックースライト紐青現物相場、国内相場は取引単位が枚数のため概算。
- 燃料
  - 内外とも約8,000 cal 国内炭は本州特定製綱所向30年度直売炭価。

## 第二表

## 海外価格を100とするわが国価格指数の推移

(注) 備考は第一表に準ず。卸売物価指数は昭和25年6月基準。

品目	区分	基準国	28年9月	29年9月	30年6月	30年9月	30年12月	31年1月	31年2月
綿糸	M	米 国	105.3	90.5	84.7	83.9	76.2	75.3	77.7
綿織物	M	"	102.5	86.2	83.6	84.8	87.0	95.0 ~95.1	91.0
人絹糸	M	イ タ リ ー	91.9	66.7	64.1	65.5	77.5	~76.8	70.3
スフ糸	M	英 国	74.2	57.5	55.9	59.7	65.7	67.9	61.3
棒鋼	Q	ベ ル ギ ー	117.2	89.4	102.0	108.6	108.6	110.3	110.3
厚板	Q	西 独	107.1	91.2	101.3	108.3	108.3	118.4	118.4
電気銅	Q	米 国	135.0	126.9	104.7	102.0	102.1	102.1 102.1	102.4
硫酸	E	西 独	126.2	118.4	118.2	115.1	119.6	~106.7 118.5	~109.6 118.5
苛性ソーダ	M	英 国	179.1	136.9	134.1	134.1	146.2	148.0	153.6
レーヨンパルプ	Q	カ ナ ダ	123.4	116.8	115.4	115.4	115.4	111.0	111.0
大豆原油	M	米 国	121.0	182.9	175.0	185.3	164.4	150.3	135.0
生ゴム	M	シンガポール	115.1	115.0	113.7	110.9	100.0	105.3	106.2
原皮	M	米 国	172.3	149.4	162.8	138.9	136.3	158.6 ~153.1	134.5
卸売物価指数		米 国	141.0	136.0	133.7	133.4	134.2	134.5	—
"		英 国	123.1	116.5	112.5	111.5	109.8	—	—
"		西 独	130.8	126.1	121.3	122.5	121.7	—	—

## 解 説

2月中の海外主要商品相場は、生ゴム、屑鉄等一部の商品に軟化を示したのもあつたが、鉄鋼、非鉄金属、石炭等は依然騰勢をつづけ、また小麦、砂糖、大豆油、綿花等農産物も続伸し、総じて堅調な推移を辿つた。

これに対し、わが国では繊維、鉄鋼等に頭打ち乃至軟化のうごきがみられたが、非鉄金属、化学製品、建築材料、燃料等は強調を示し、東京卸売物価も月中0.7%の続騰をみせた。このように内外市況とも堅調な動きを示したため、国際比価関係には総じて格別大きな変化はみられなかつた。

次に主要商品別に内外価格の動きを概観すると以下の通りである。

(1) 繊維 わが国は綿糸が輸出の頭打ち、内需の高値買控え、紡績筋の売り急ぎ等から騰勢一服し、また人絹糸、スフ糸も輸出の伸悩み、シーズン・オフ入りから夫々ジリ安商状をつづけ総じて軟調商状を呈した。一方海外価格も香港綿糸布、米国スフ糸等微落し、大勢弱保合に推移したが、わが国の軟化の幅が大きかつたため、国際比価関係は総体的に割安の幅をひろめた。なおスフ糸、綿織物は輸出価格の頭打ち乃至微騰に対し、国内価格は下落したため、前月までの二重価格は解消

するに至つた。

(2) 鉄鋼 海外市況は前月中かなりの騰貴を示した後だけに、当月はさすがに騰勢一服のかたちであるが、基調は依然として強い。先ず、米国はベース価格は据置きながら薄板、厚板について、エキストラ（特定条件に対する付加的料金）を改訂、実質的には3~5%の値上げを実施し、英国も亜鉛鉄板の価格をトン当たり1.9弗方引上げた。またシェーマン・プラン加盟国でも価格保合ながら需要は引続き活潑を伝えられている。ただこの間にあつて、米国屑が同国製鋼業者の買決りにより前月末50.83ドルから当月末47.83ドルへ続落し、またシェーマン・プラン加盟国の棒鋼実勢輸出価格も米国の買一服から2~3ドル反落するに至つているのは注目される。

一方、わが国は前月20日以降大手筋メーカーの建値引上げに伴う思惑材料の出尽し旁々米国屑の下落、西欧筋の棒鋼輸出価格軟化の影響もあつて、市中相場は次第に軟調の色を濃くし、棒鋼、亜鉛鉄板は4.1ドルの下落を示した。また輸出価格も海外の高値追隨難から頭打ちとなり、棒鋼の如きは、昨年6月来久方振りで2ドルの反落となつた。なお、わが国の値下り幅は小さく、未だ高値は正の域を出ていないが、海外鋼材市況は総じて騰勢を辿つたため、国際比価関係は前月に比し僅かな

から改善した。

(3) 非鉄金属 海外市況は前月やや落着き模様を呈したが、当月は再び騰勢に転じ、需要は依然として旺盛裡に推移している。先ず電気銅は引続き需給逼迫の折柄、2月下旬米国建値引上(7%)を契機に英国をはじめ一齊高となり、米英共に今世紀の最高値を示現。また、鉛、亜鉛、アルミ、錫とも英国相場は騰貴し、全般的に底固い動きを示した。一方、わが国相場も海外市況の活況旁々故銅輸入の不円滑もあつて、銅が更に昂騰、鉛、亜鉛、アルミも強含みに推移、ただ錫のみは輸入

着荷の順調から2.3%方軟落した。このような動きから、国際比価関係は、銅が割高の幅を更に拡大、その他は割高の幅をやや縮少した。

(4) その他 大豆油は内外とも騰貴したが、米国の値上り幅が大きく、また原皮もわが国の保合に対し米国は騰貴したため夫々割高の幅を縮少。生ゴムは内外とも下落したが、海外の値下り幅が大きく、米国比では割安の幅を縮めた。なお、苛性ソーダは海外の保合に対し、わが国は値上りを見せたため、割高の幅を拡大した。

## 日 誌 (昭和31年2月)

### 国 内

- 2日 ○損害保険会社、長期貸出金利引下げ決定
- 9日 ○31年度地方財政計画国会に提出さる
- 10日 ○第二次余剰農産物買入協定調印
- 15日 ○生命保険会社、長期貸出金利引下げ決定
- 20日 ○30年度一般会計予算補正成立
- 21日 ○金融機関資金審議会の設置を閣議において決定

- 21日 ○農林省、30年産米の集荷促進要綱決定
- 22日 ○英磅建輸入ユーザンスの業者負担金利引上げ実施
- 23日 ○本行政策委、外国為替引当貸付の利子歩合変更  
○政府、英磅MOF預金々利引上げ実施
- 28日 ○31年度予算案衆院通過

### 海 外

- 1日 ○インドネシア国際錫協定批准
- 2日 ○E C A F E年次総会開催(14日迄)
- 3日 ○ソ連対ブルガリア経済援助協定成立
- 6日 ○英国マレー独立(今後二カ年以内)を承認
- 7日 ○米緬余剰農産物援助協定調印、総額21.7百万ドル  
○オランダ銀行、公定歩合を2.5%より3%に引上
- 8日 ○アイゼンハワー大統領移民教書を議会に提出
- 9日 ○アスワシ・ダム計画(エジプト)に対する世銀2億ドル借款大綱成立
- 14日 ○濠洲の港湾スト終了  
○ソ連第20回共産党大会開催

- 16日 ○英蘭銀行公定歩合を4.5%より5.5%に引上
- 17日 ○英政府新インフレ対策を発表  
○英政府国防白書を議会に提出
- 19日 ○カンボジア首相中共訪問に際し、中共カンボジア共同声明発表
- 20日 ○国際小麦協定理事会開催
- 21日 ○インドネシア、ハーグ協定廃棄を通告
- 28日 ○オーストリア議会解散  
○仏国民議会三週間有給休暇制に関しモレ内閣信任
- 29日 ○アイゼンハワー大統領再出馬意思表明